

資料提供

(県政担当・田辺記者クラブ同時提供)

令和7年3月7日

報道関係の皆様へ

(公財)南方熊楠記念館
館長 高垣 誠

南方熊楠記念館開館60周年記念 第一部 2025年度特別展 「ミナカタ・ソサエティから記念館へ」

南方熊楠記念館開館60周年記念 第一部 2025年度特別展「ミナカタ・ソサエティから記念館へ」を令和7年3月22日(土)より開催します。

報道関係の皆様におかれましては、令和7年3月18日(火)午後2時から、この特別展に関する説明会を南方熊楠記念館(西牟婁郡白浜町3601-1)にて実施いたしますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

なお、この時間にご都合のつかない場合は、電話で担当までご相談ください。

記

【特別展概要】

南方熊楠記念館は1965(昭和40)年に開館し、今年で60周年となります。それを記念し、熊楠没後から遺稿の整理を行ったミナカタ・ソサエティ(代表者洪沢敬三)や1951年に刊行された最初の「熊楠全集」及び「ミナカタ・クマダス展」について紹介をします。どのような歴史から1965年に当館が開館し、どういった歴史があるのかを関係資料や古写真などでわかりやすく展示します。会期中には、貴重な熊楠直筆の原稿や都々逸の扇面を公開します。

また1923年の関東大震災で消失したとされていた「十二支考」馬と羊の一部の直筆原稿が、神奈川大学日本常民文化研究所から発見されました。その概要についても展示します。さらに熊楠が都々逸を書いた「黒いもり扇面」の一般公開をします。

- 「主な展示品」①ミナカタ・ソサエティ(洪沢敬三)写真 ②熊楠直筆の「十二支考」原稿(馬・羊)
③熊楠賛「黒いもり扇面」 ④白浜の古写真(熱帯植物園など)

- ・会期：令和7年3月22日(土)～令和7年9月23日(火・祝)
- ・休館日：木曜日 6月28日～30日 ※7月20日～8月31日まで無休
- ・会場：南方熊楠記念館 本館2階(西牟婁郡白浜町3601-1)
- ・料金：入館料必要(大人600円、小人300円、幼児無料)

※資料保存のため、熊楠の直筆資料等一部分期間中展示換えを予定。

(詳細はホームページ、SNSにて告知します。)

○ 特別展講演会「あらためて知る南方熊楠」

田村 義也 氏 (成城大学非常勤講師)

「南方熊楠を読めるということ：原稿・掲載雑誌・単行本」

松井 美香 氏 (一般社団法人 和歌山県建築士会 常務理事)

「南方熊楠にまつわる建築の話—ふたつの登録有形文化財と寺嶋瓦について—」

・開催日：令和7年7月6日(日)

・時 間：午後2時～午後4時

・場 所：南方熊楠記念館 本館多目的室

・参加費：無 料 (入館料が必要)

・定員35名 ※要予約 (3月22日より申し込み開始)

電話 (0739-42-2872), 及び記念館ホームページ応募フォームから

○ ギャラリートーク (当館学芸員による説明)

・4月20日、5月4日、6月1日、7月20日、8月31日、9月14日

※いずれも日曜日 午後2時から20分程度、申込不要

<お問い合わせ> (公財) 南方熊楠記念館
担当:三村(みむら) 電話:0739-42-2872